

2022年3月22日

2022年1月23日 第四版作成

研究に関するお知らせ

HIV陽性患者における外科手術の周術期管理に関する後ろ向き研究

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 肝胆膵外科では、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

HIV陽性患者様に対する抗レトロウイルス療法の発展による生存率の改善に伴い、HIV陽性患者様に対する消化器外科、呼吸器外科、および心臓血管外科の各領域の手術症例も増加しています。HIV陽性患者様における術後合併症はHIV非感染者と比較して多いことが知られていますが、そのリスク因子に関しては様々な報告があり議論の渦中であります。本研究では、2010年8月～2020年10月の期間に、当院で行われた消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科の各手術症例に関する周術期管理（術後合併症、HIV管理）、予後について検討します。

■研究期間

理事長承認日～西暦2025年3月31日。

■研究の対象となる方

2010年8月～2020年10月の期間、当院で消化器外科、呼吸器外科、および心臓血管外科の手術を受けた方で、HIV陽性が確認されている方。

■研究に用いる試料・情報の種類

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報（人口統計学情報、病歴、身体所見、画像診断、手術記事、病理結果、術後合併症）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■研究費と利益相反

この研究では、研究全体及び研究者個人としての利益相反はありません。また、研究費は株式会社 ViiV Healthcare、Gilead Sciencesからの研究資金を使用して実施します。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者:

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 肝胆膵外科 三原史規

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

所属・役職:肝胆膵外科・医師

氏名:三原 史規

電話番号:03-3202-7181(代表) 内線:4087